

スーパーマーケット販売統計調査資料

2025 年 6 月実績 速報版

5 月実績 確報版

(2025 年 7 月 22 日公表)

調査資料概要

【パネル 270 社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版：前月販売実績を速報値として公表 確報版：速報値に精度の高い集計を加え確報値として公表

【全店・既存店】

全店：前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較 既存店：前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮三部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜		惣菜、折詰料理、揚げ物、おにぎり、寿司、インスタベーカー、ファーストフード
		日配		豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム
		一般食品		調味料、瓶詰詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類
	非食品			日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具
	その他			テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城。山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州地方・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄
北日本日本海側	北海道の日本海側とオホーツク海側（宗谷南部）、東北日本海側
太平洋側	北海道の太平洋側とオホーツク海側（網走・北見・紋別地方）、東北太平洋側
東日本日本海側	北陸地方
太平洋側	関東甲信、東海地方
西日本日本海側	近畿日本海側、山陰、九州北部地方
太平洋側	近畿太平洋側、山陽、四国、九州南部
沖縄・奄美	鹿児島県奄美地方、沖縄地方

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2025年7月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2025年6月実績 速報版（パネル270）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	107,688,802	100.0%	104.6%	103.2%
食品合計	98,644,394	91.6%	105.0%	103.5%
生鮮3部門合計	35,158,119	32.6%	102.1%	100.5%
青果	14,299,098	13.3%	101.0%	99.7%
水産	8,612,156	8.0%	101.2%	99.5%
畜産	12,246,865	11.4%	104.0%	102.3%
惣菜	11,745,151	10.9%	105.5%	103.7%
日配	22,144,883	20.6%	105.4%	103.8%
一般食品	29,596,241	27.5%	108.0%	106.9%
非食品	6,740,245	6.3%	100.3%	99.6%
その他	2,304,201	2.1%	102.3%	101.8%

地方分類別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北地方	14,540,088	43	104.6%	102.3%
関東地方	40,144,298	73	105.9%	104.2%
中部地方	13,048,486	53	103.2%	101.9%
近畿地方	23,798,852	44	104.1%	102.6%
中国・四国地方	10,826,027	34	103.9%	103.9%
九州・沖縄地方	5,331,051	23	102.3%	102.7%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	531,926	46	99.1%	101.0%
4～10店舗	4,544,151	84	103.1%	102.5%
11～25店舗	8,544,118	48	104.6%	103.7%
26～50店舗	18,915,182	46	103.9%	102.9%
51店舗以上	75,153,426	46	104.9%	103.3%
集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）		105,697,422
総店舗数（店舗）	8,401	店舗平均月商（万円）		12,819
総売場面積（㎡）	14,092,183	売場1㎡あたり売上高（万円）		7.6

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2025年7月22日

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査 2025年5月実績 確報版（パネル270）

	全店売上高（万円）	構成比	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
総売上高	108,510,032	100.0%	104.5%	103.4%
食品合計	100,022,953	92.2%	104.8%	103.7%
生鮮 3 部門合計	36,364,744	33.5%	102.1%	100.9%
青果	14,765,053	13.6%	100.8%	99.8%
水産	8,928,856	8.2%	101.3%	99.9%
畜産	12,670,836	11.7%	104.2%	102.9%
惣菜	12,158,252	11.2%	105.3%	103.7%
日配	22,100,481	20.4%	104.1%	103.1%
一般食品	29,399,476	27.1%	108.8%	107.8%
非食品	6,041,583	5.6%	99.1%	99.2%
その他	2,445,544	2.3%	102.7%	102.8%

地方分類別集計

エリア	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
北海道・東北地方	14,687,925	43	104.5%	102.6%
関東地方	40,267,931	73	104.9%	103.8%
中部地方	13,459,043	53	104.8%	103.6%
近畿地方	23,751,415	44	104.1%	102.7%
中国・四国地方	11,019,249	34	104.7%	104.3%
九州・沖縄地方	5,324,470	23	101.5%	102.9%

保有店舗数別集計

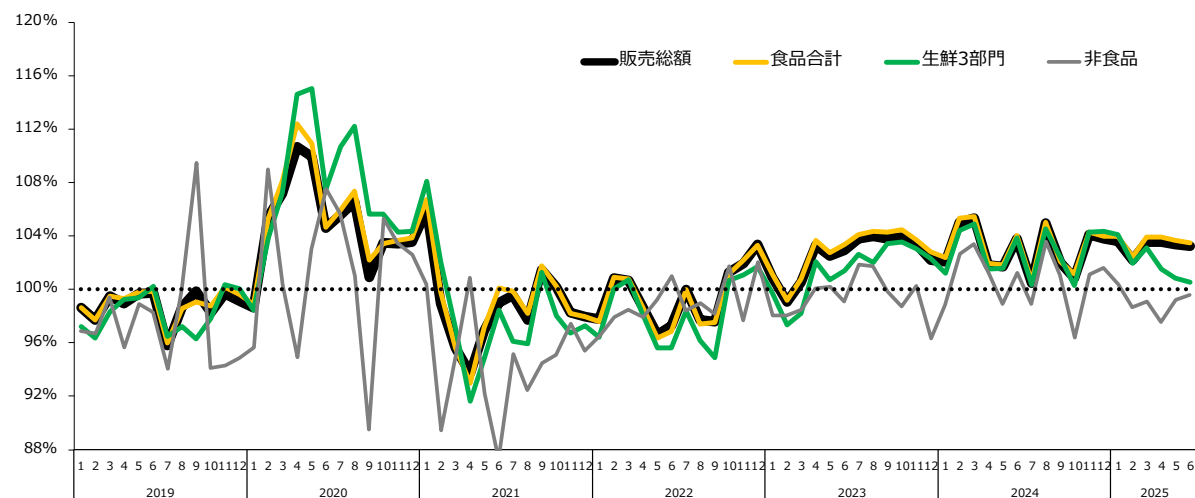
保有店舗数	全店売上高（万円）	集計対象企業数	前年同月比 （全店）	前年同月比 （既存店）
1～3店舗	551,624	46	100.8%	100.8%
4～10店舗	4,628,119	84	102.7%	102.2%
11～25店舗	8,678,610	48	104.5%	103.7%
26～50店舗	19,239,980	46	104.3%	103.4%
51店舗以上	75,411,699	46	104.6%	103.4%
集計企業数（社）	270	既存店総売上高（万円）		106,413,490
総店舗数（店舗）	8,395	店舗平均月商（万円）		12,926
総売場面積（㎡）	14,082,094	売場 1㎡あたり売上高（万円）		7.7

※売上高は税抜金額

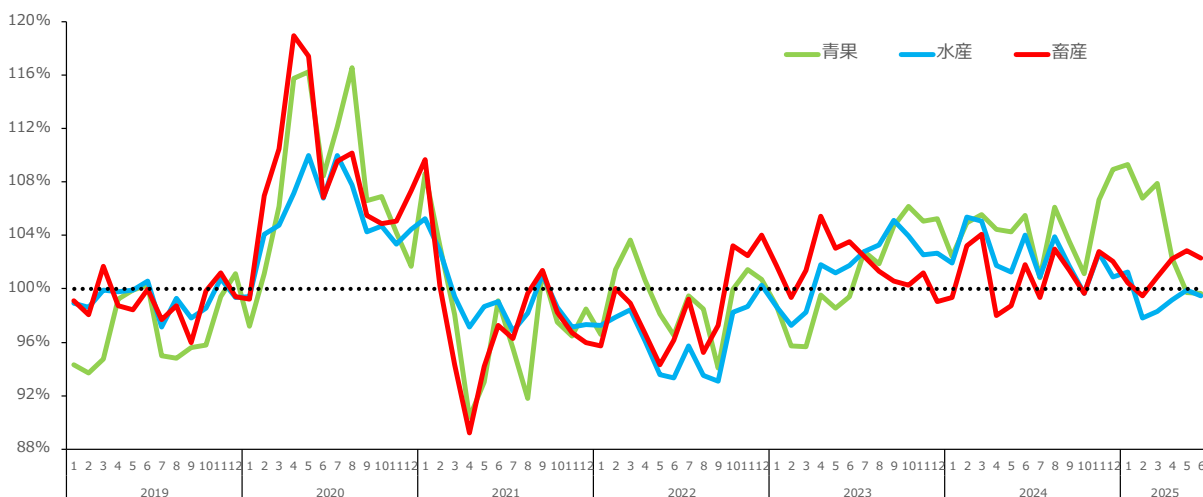
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計調査 前年同月比（既存店）推移 2019年1月～

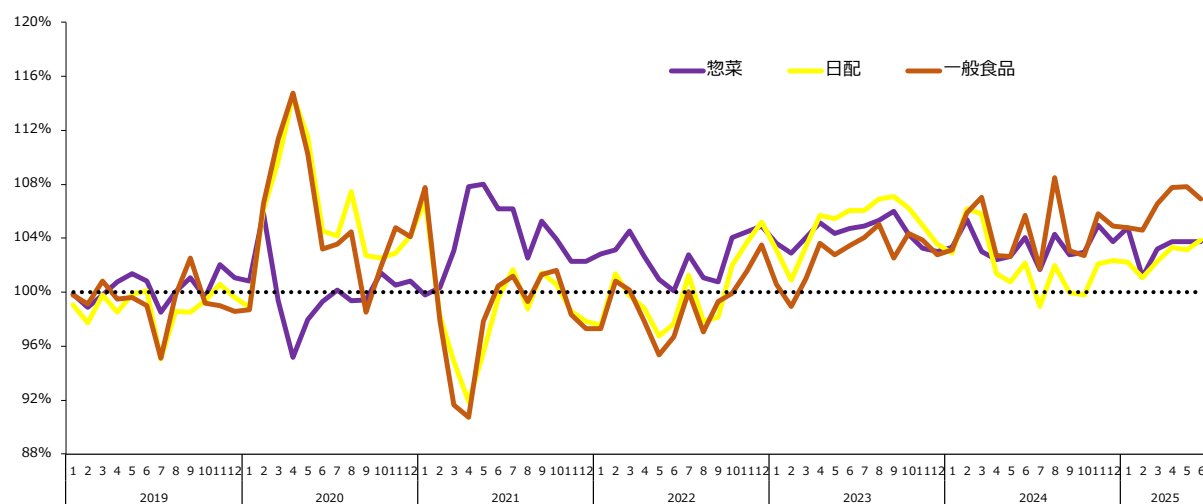
総売上高・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2025年6月実績は速報版

2025年6月 エリア別気候状況

6月の気温：気温は、北・東・西日本では、かなり高かった。日本の月平均気温は、1898年以降で6月として最も高かった

上旬：北日本では高かった。

中旬：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

下旬：北日本、東日本、西日本ではかなり高かった。

2024年6月との比較：上旬は東・西日本でかなり低く、中旬は東・西日本でかなり高く、下旬は北日本でかなり高くなった

	平年との比較 (℃)						今年と前年との差 (℃)		
	2025年6月 (今年)			2024年6月 (前年)					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北日本 日本海側	1.1	2.9	4.2	1.7	2.3	1.7	-0.6	0.6	2.5
太平洋側	2.0	3.6	5.1	3.8	2.9	2.9	-1.8	0.7	2.2
東日本 日本海側	0.2	2.4	2.9	2.4	0.8	2.0	-2.2	1.6	0.9
太平洋側	0.5	3.1	3.6	3.5	0.7	3.1	-3.0	2.4	0.5
西日本 日本海側	0.0	2.4	2.7	3.0	0.2	2.3	-3.0	2.2	0.4
太平洋側	-0.1	2.7	3.1	2.9	0.2	2.2	-3.0	2.5	0.9

平年差

+2℃以上
+1℃以上

-2℃以上
-1℃以上

前年差

+2℃以上
+1℃以上

-2℃以上
-1℃以上

6月の日照時間：日照時間は、北・東・西日本太平洋側では、かなり多かった

上旬：北日本太平洋側では多かった。東日本日本海側、東日本太平洋側、西日本日本海側では少なかった。

中旬：北日本太平洋側ではかなり多かった。北日本日本海側、東日本、西日本太平洋側では多かった。

下旬：北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本ではかなり多かった。東日本日本海側では多かった。

2024年6月との比較：上旬と中旬は東・西日本で少なく、下旬は東・西日本で多くなった

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年6月 (今年)			2024年6月 (前年)					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北日本 日本海側	102	124	107	108	133	102	-6	-9	5
太平洋側	127	162	145	96	169	128	31	-7	17
東日本 日本海側	90	136	136	107	193	108	-17	-57	28
太平洋側	87	136	193	119	171	91	-32	-35	102
西日本 日本海側	88	107	171	116	160	46	-28	-53	125
太平洋側	95	129	189	128	136	48	-33	-7	141

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

6月の降水量：北日本太平洋側、西日本太平洋側では少なかった

上旬：西日本ではかなり多かった。東日本では多かった。

中旬：東日本日本海側では多かった。北日本太平洋側、西日本太平洋側では少なかった。

下旬：北日本日本海側ではかなり多かった。西日本太平洋側ではかなり少なかった。東日本太平洋側では少なかった。

2024年6月との比較：上旬は東・西日本でかなり多く、中旬は東日本太平洋側で多く、下旬は東・西日本でかなり少なくなった

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差		
	2025年6月 (今年)			2024年6月 (前年)					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北日本 日本海側	66	71	170	80	60	143	-14	11	27
太平洋側	71	55	88	90	25	106	-19	30	-18
東日本 日本海側	148	125	99	67	19	134	81	106	-35
太平洋側	153	84	65	98	137	203	55	-53	-138
西日本 日本海側	225	78	92	72	82	143	153	-4	-51
太平洋側	234	59	42	107	118	158	127	-59	-116

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

気象庁ホームページ「2025年6月の気候」を参考に事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2025 年 7 月調査結果（6 月実績）
（2025 年 7 月 22 日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感 DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比(%)に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

7月調査（6月実績）結果概況

現状判断 DI は小幅に悪化

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断 DI の現状判断は前月から-1.1 の 47.7、見通し判断が前月から-1.0 の 43.8 となり、小幅ながらやや悪化傾向が続いている。

経営動向調査では、売上高 DI はプラス幅を縮小、利益確保の難しさを背景に収益 DI はゼロ水準まで下落した。客単価 DI も下落、来客数 DI はマイナス圏での推移となった。生鮮品仕入原価 DI、食品仕入原価 DI は高止まり傾向が続き、販売価格 DI も引き続き高水準で推移している。

カテゴリ動向調査では、前月水準から大きな動きはみられなかった。米の価格高騰等により、一般食品 DI、代替としても支持が高い惣菜 DI が二桁プラス圏を維持している。（カテゴリ別動向に詳細掲載）

景況感調査は現状、見通しともに大きな変化はみられなかったが、ほとんどの DI が小幅に悪化をみせた。（長期傾向は P11 参照）

6月は、前年より土曜日が一日少ない曜日めぐりながら、特に中旬以降高温に見舞われ、飲料、涼味など、夏物商材を中心に堅調な販売動向となった。また、随意契約による備蓄米の放出が始まったものの、米の価格高騰を背景に、関連・代替商品を含め、売上伸長が続いている。

昨年、一昨年と夏期に記録的な高温を記録、今年も猛暑の予想が出ており、日中の買物を避けるなどの買物行動が予想される。西日本では早々に梅雨明けし、水不足による日常生活や農作物、店舗運営等への影響も懸念される。猛暑による商品動向だけでなく、豪雨など常態化しつつある気候変動への対応も求められる。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：47.7 (-1.1)
前月：48.8

消費者購買意欲DI
当月：43.5 (-2.6)
前月：46.1

周辺地域 競合状況DI
当月：44.8 (0.0)
前月：44.8

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：46.0 (-1.3)
前月：47.3

見通し判断

景気判断DI
当月：43.8 (-1.0)
前月：44.8

消費者購買意欲DI
当月：42.4 (-1.4)
前月：43.8

周辺地域 競合状況DI
当月：42.5 (-0.8)
前月：43.3

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：44.4 (-0.8)
前月：45.2

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：8.6 (-3.4)
前月：12.0

客単価DI
当月：14.1 (-4.5)
前月：18.6

来客数DI
当月：-4.9 (-0.7)
前月：-4.2

収益DI
当月：0.0 (-6.8)
前月：6.8

販売価格DI
当月：22.7 (-1.7)
前月：24.4

生鮮品仕入原価DI
当月：18.0 (+0.7)
前月：17.3

食品仕入原価DI
当月：21.4 (-3.6)
前月：25.0

カテゴリ動向

青果DI
当月：-3.9 (-1.5)
前月：-2.4

水産DI
当月：-2.3 (+2.2)
前月：-4.5

畜産DI
当月：1.9 (-2.5)
前月：4.4

惣菜DI
当月：13.0 (+2.4)
前月：10.6

日配DI
当月：5.8 (+2.5)
前月：3.3

一般食品DI
当月：18.0 (-1.7)
前月：19.7

非食品DI
当月：-1.2 (+5.4)
前月：-6.6

※DI 値は前年同月との比較／○内は前月 DI からの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高 DI

前月から下落も、プラス圏を維持

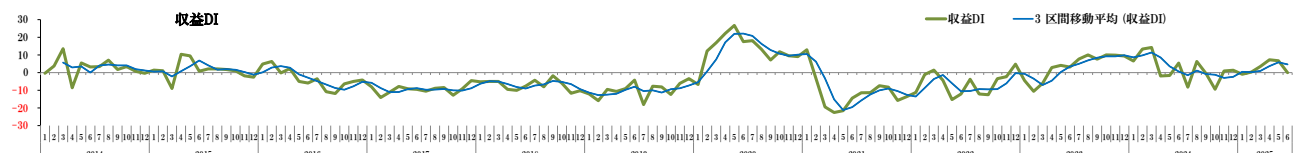
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	3.1	12.3	29.4	44.2	11.0	12.0
売上高 (当月)	4.3	15.7	30.7	40.0	9.3	8.6



2. 収益 DI

前月から下落、プラス圏からゼロ水準に

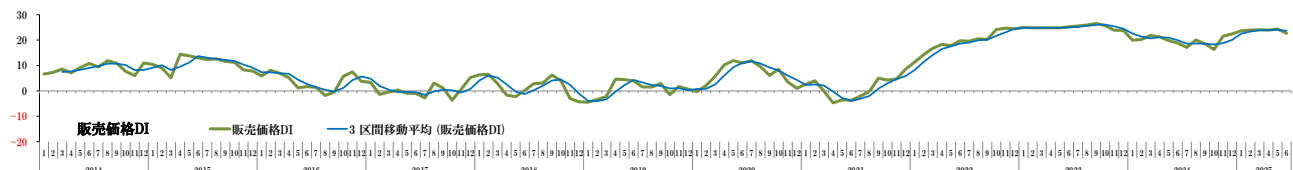
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	5.0	17.6	34.0	32.1	11.3	6.8
収益 (当月)	8.0	22.5	38.4	23.9	7.2	0.0



3. 販売価格 DI

前月から小幅に下落も、2桁プラス水準で推移

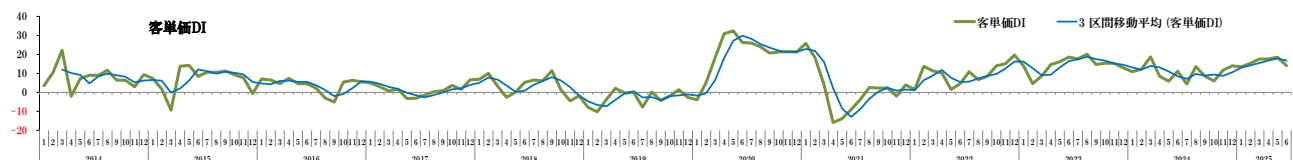
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	0.6	13.2	74.2	11.9	24.4
販売価格 (当月)	0.0	0.7	18.0	71.2	10.1	22.7



4. 客単価 DI

前月から下落も、二桁プラス水準を維持

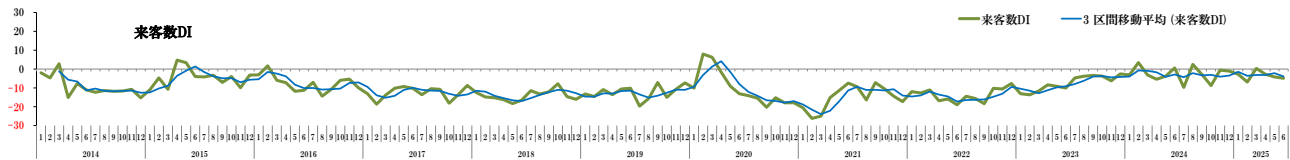
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	4.9	23.9	63.2	8.0	18.6
客単価 (当月)	0.7	7.3	32.1	54.7	5.1	14.1



5. 来客数 DI

前月から横ばい、マイナス圏で推移

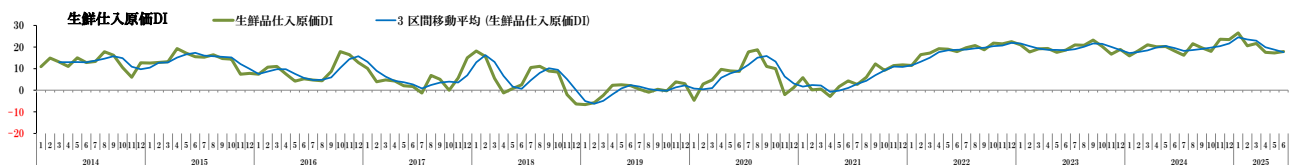
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	6.2	29.0	43.2	18.5	3.1	-4.2
来客数 (当月)	7.2	32.6	37.0	18.8	4.3	-4.9



6. 生鮮仕入原価 DI

前月から横ばい、2桁プラス水準で推移

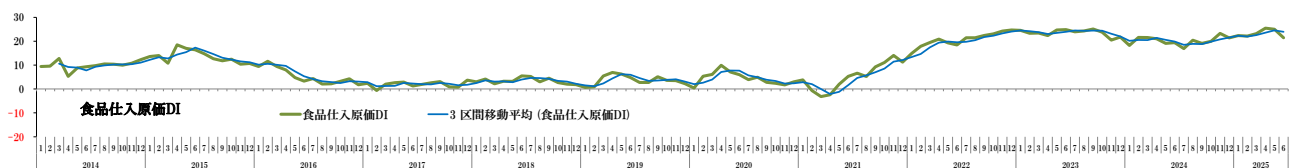
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.7	7.9	21.1	62.5	7.9	17.3
生鮮仕入原価 (当月)	0.0	7.4	21.5	63.0	8.1	18.0



7. 食品仕入原価 DI

前月から下落も、50 か月連続プラス域

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.0	3.9	13.7	60.8	21.6	25.0
食品仕入原価 (当月)	0.8	3.8	18.0	63.9	13.5	21.4

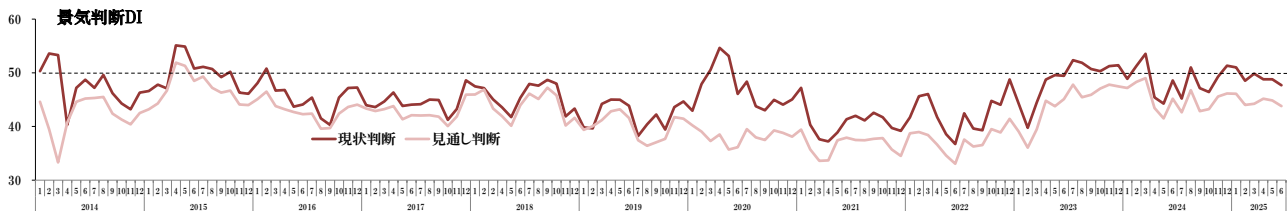


Ⅱ．景況感調査（2014 年 4 月～／周辺地域景気判断 2010 年 4 月～）

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に小幅悪化

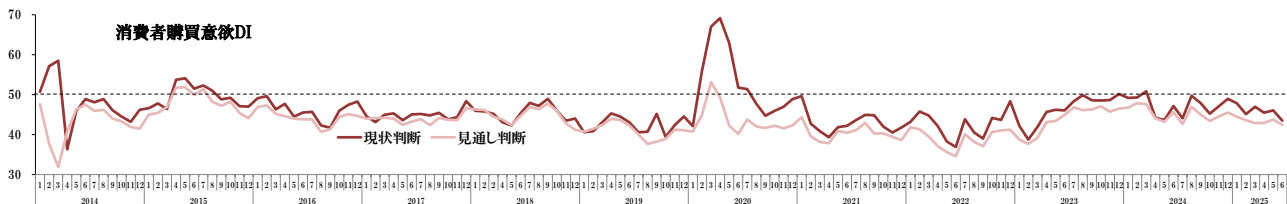
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断（前月）	1.8	17.6	66.1	12.7	1.8	48.8
【現状】景気判断（当月）	2.1	17.7	68.8	9.9	1.4	47.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断（前月）	1.8	27.3	61.8	7.9	1.2	44.8
【見通し】景気判断（当月）	3.5	27.0	61.0	7.8	0.7	43.8



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断は悪化、見通し判断も小幅に悪化

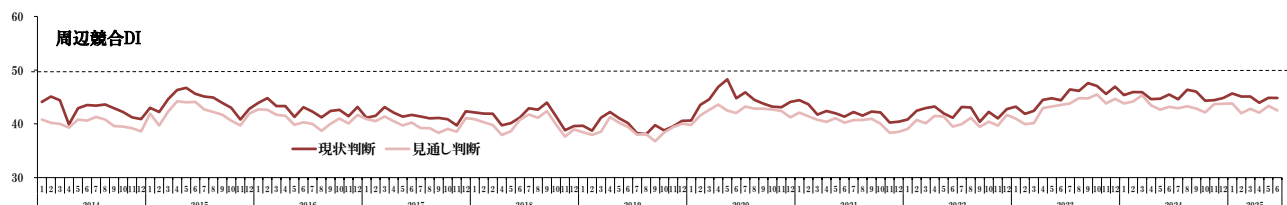
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲（前月）	0.6	23.6	67.3	7.9	0.6	46.1
【現状】購買意欲（当月）	0.7	28.9	66.2	4.2	0.0	43.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲（前月）	0.6	29.7	64.2	4.8	0.6	43.8
【見通し】購買意欲（当月）	0.7	32.4	63.4	3.5	0.0	42.4



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断は横ばい、見通し判断は小幅に悪化

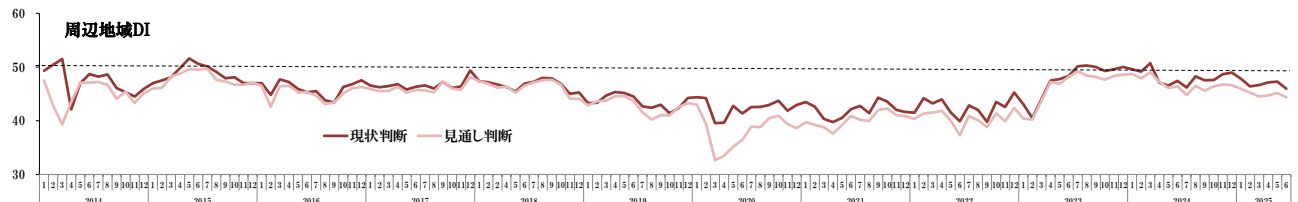
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況（前月）	2.4	18.8	76.4	1.8	0.6	44.8
【現状】競合状況（当月）	1.4	20.7	75.0	2.9	0.0	44.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況（前月）	3.6	22.4	71.5	1.8	0.6	43.3
【見通し】競合状況（当月）	2.9	26.4	68.6	2.1	0.0	42.5



4. 中核店舗周辺地域景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に小幅に悪化

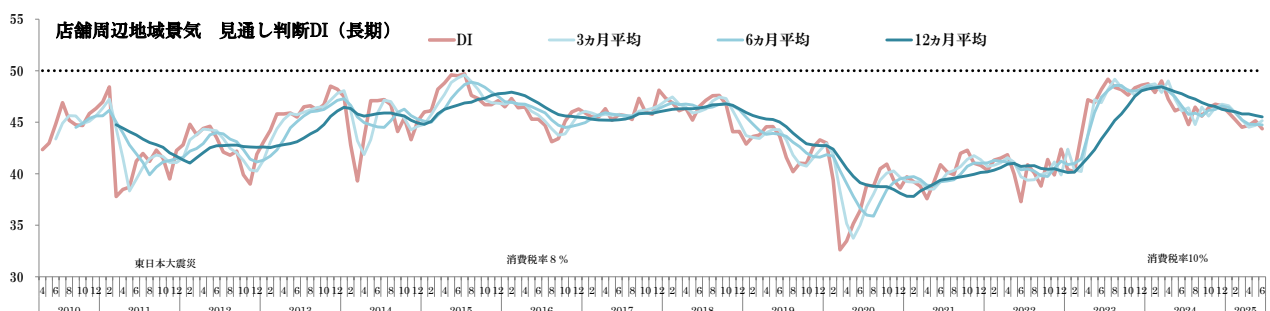
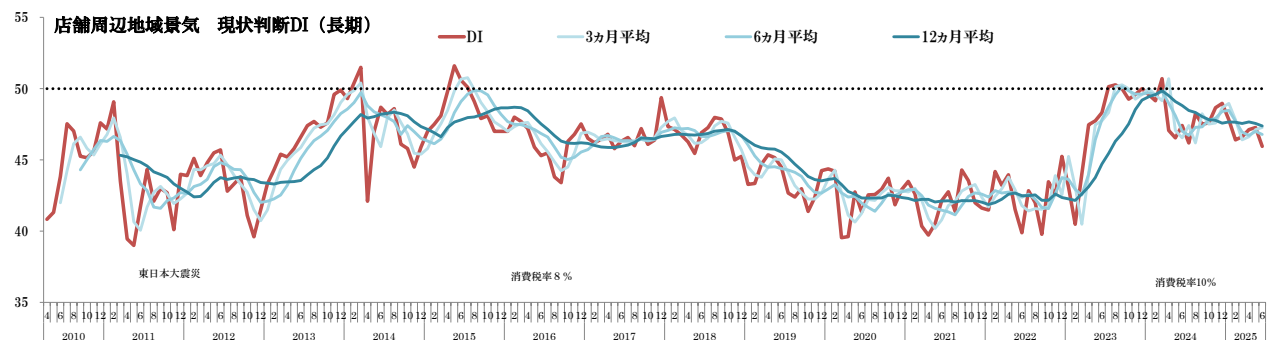
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	0.0	12.7	85.5	1.8	0.0	47.3
【現状】地域景気 (当月)	0.0	16.9	82.4	0.7	0.0	46.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	0.0	21.2	77.0	1.8	0.0	45.2
【見通し】地域景気 (当月)	0.0	23.2	76.1	0.7	0.0	44.4



・中核店舗周辺地域景気判断 DI 長期傾向 (2010 年 4 月～)

周辺地域景気判断 DI は 2011 年 3 月の東日本大震災以降低迷が続けたが、12 年 11 月から 16 ヶ月にわたる改善が続き、14 年 3 月は現状判断 DI が 51.5 を記録。14 年 4 月の消費税率 8% 引き上げにより大幅に悪化するも徐々に持ち直し、15 年 5 月には現状判断 DI は 51.6 に達し、調査開始以来の最高値を更新した。その後 15 ヶ月間にわたり悪化傾向は続き 16 年 9 月には、現状判断 DI は 43.4 まで低迷した。

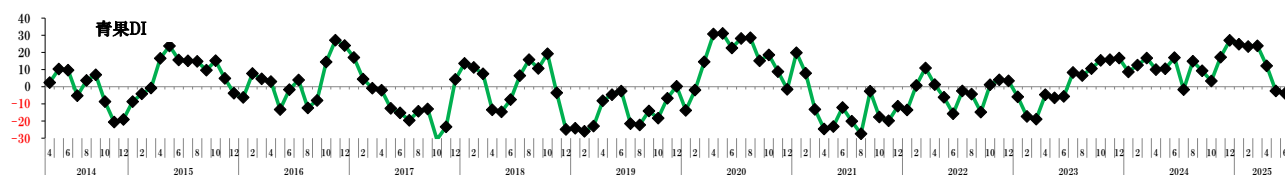
以後方向感の乏しい推移が続いたが、18 年の後半から悪化傾向が顕著となり、19 年 7 月には現状判断 DI は 42.3 まで低下した。21 年は、感染状況により上下する動きとなった。22 年は、感染が再拡大した 7 月以降に大幅な改善をみせた。23 年も改善が続き、7 月には判断の分かれ目である 50 を突破、その後も高水準を維持した。24 年前半に悪化したものの、後半は緩やかな改善傾向が続いた。25 年はダウントレンドが見られるが、3 月まで悪化幅は限定的となっている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果 DI：-3.9（やや不調）

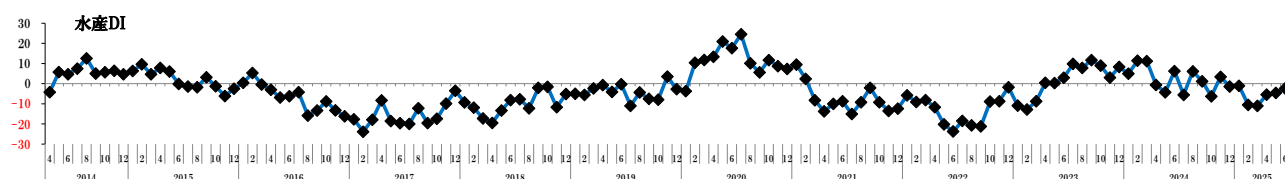
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	5.2	36.4	29.2	21.4	7.8	-2.4
青果（当月）	5.4	38.8	28.7	20.2	7.0	-3.9



青果相場は全般に落ち着き、単価が低下傾向にあるなか、販売数量が伸び悩み、やや不調となった。高い気温によりサラダ関連は販売点数は好調だが、レタスを中心とした葉物類、トマトの単価下落が影響し売上は伸び悩んだ。じゃがいも、たまねぎなど土物類、根菜類、きのこ類は供給と価格が安定し、好調な店舗が多かった。国産果物では、さくらんぼが不作で不調も、メロン、リンゴ、スイカが好調、カットフルーツも好調。輸入果物ではキウイやバナナが良好な動きをみせた。

2. 水産 DI：-2.3（やや不調）

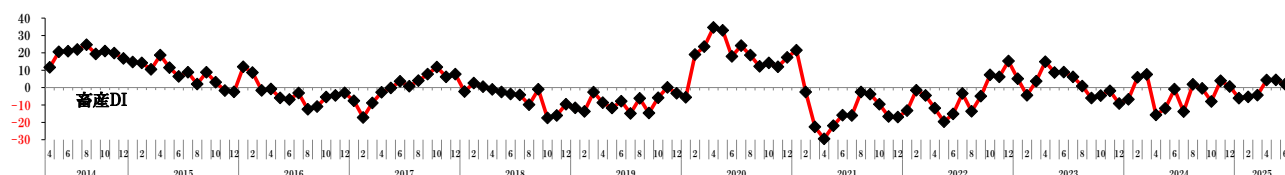
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	7.1	32.5	35.1	22.1	3.2	-4.5
水産（当月）	6.9	32.3	29.2	26.2	5.4	-2.3



相場高の状況が続いており、生魚は苦戦傾向も、マグロやカツオ、サーモンなどの刺身類が好調で、前月よりやや持ち直した店舗が多い。うなぎは気温上昇により好調で、輸入品を中心に動きがよかった。ブリは相場高で販売が伸び悩み、ほたては大幅な相場高で大きくマイナス。シラスの不漁により、小魚カテゴリー全体が低迷、魚卵・塩干も厳しい状況が続いた。

3. 畜産 DI：1.9（やや好調）

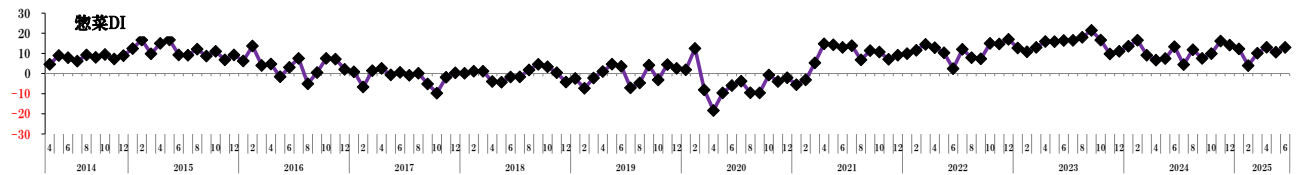
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	3.9	23.0	33.6	30.3	9.2	4.4
畜産（当月）	6.1	22.9	38.2	22.9	9.9	1.9



全般的に相場高が続き、牛肉の不振と豚肉・鶏肉への需要シフトが継続している。牛肉は国産、輸入共に高値推移が続くなか、中旬以降は気温上昇により焼肉需要には回復傾向もみられた。切り落としや味付肉など低価格・簡便な商材が比較的好調に推移した。国産豚の価格上昇が続く、輸入豚が好調に推移した。鶏肉はブラジルの鳥インフルエンザの影響もあり高騰が続く。特売が打てない、利益確保に悩むコメントが多くみられた。

4. 惣菜DI：13.0（好調）

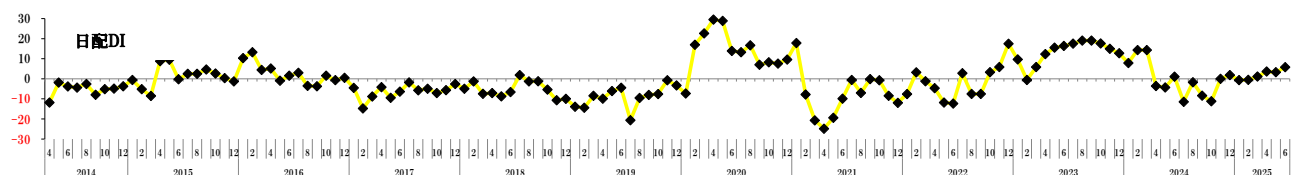
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	2.0	12.4	35.9	40.5	9.2	10.6
惣菜（当月）	0.0	12.4	35.7	39.5	12.4	13.0



コメ価格の高騰により、おにぎりやお弁当などの米飯類が引き続き好調に推移した。気温上昇により、家庭での調理を避ける揚げ物・てんぷら類は堅調に推移しているが、寿司類は持ち帰り面で不調とする店舗が多い。サラダ関連や冷惣菜は青果相場の落ち着きにより伸び悩んだ。中旬以降は、おつまみ惣菜のニーズが高まった。差別化や利益確保に向け商品ラインアップの見直しや独自商品の開発に取り組むとの声も多く見られた。

5. 日配DI：5.8（やや好調）

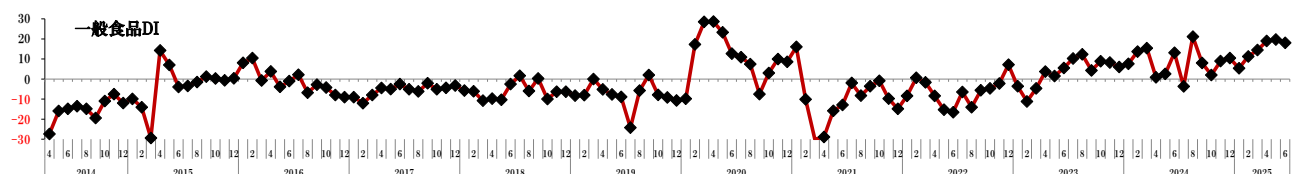
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.3	20.3	41.8	29.4	5.2	3.3
日配（当月）	3.1	18.5	36.9	35.4	6.2	5.8



鶏卵は価格高騰が続き好調に推移、売上を牽引した。気温上昇により、アイス・氷菓やチルド飲料が好調となる一方で、牛乳は不調とのコメントが多い。コメ高騰に伴い、パン類やチルド麺類が引き続き好調。和日配では、納豆や豆腐漬物などの値ごろ商品は動きもよい。洋日配ではヨーグルトの好調が続く一方で、デザート類は伸び悩んだ。冷凍食品は引き続き堅調な推移が続いている。

6. 一般食品：18.0（好調）

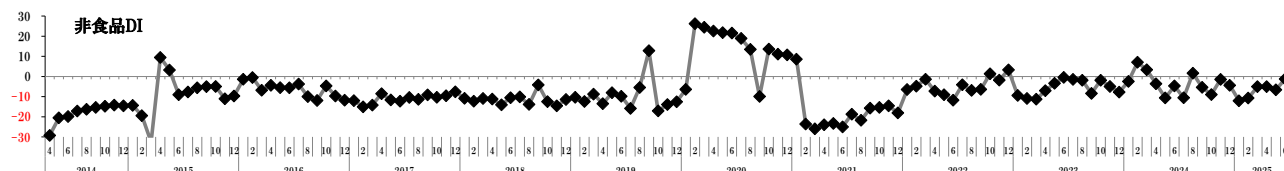
回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	1.3	7.1	26.3	42.3	23.1	19.7
一般食品（当月）	1.6	9.3	27.1	39.5	22.5	18.0



米は価格が高止まりする一方、随意契約備蓄米の放出開始、入札備蓄米の出荷も増えて点数が伸び、好調な販売動向が続いた。レンジ米飯、餅、パスタ、インスタント麺類などの関連商品も好調を持続。気温上昇により、飲料や酒類が好調、素麺、つゆなど涼味商材の動きもよい。一方で、全般的な値上がりによる単価上昇で、販売点数の伸び悩みを指摘するコメントが多い。梅酒や梅干しなどが今年は好調、とのコメントもみられた。

7. 非食品 DI：-1.2（やや不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.8	32.0	38.8	17.7	2.7	-6.6
非食品（当月）	8.0	21.6	41.6	24.8	4.0	-1.2



気温上昇とともに、日焼け止めや防虫剤など夏物商材が好調。保冷剤などの熱中症対策商品の動きもよい。ティッシュペーパーやトイレトペーパーなど紙製品は好不調が分かれている。衣料洗剤は価格改定の影響で伸び悩んだ店舗が多い。ドラッグストアやホームセンターなどとの競合激化を指摘するコメントが多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20 好調： 20 ～ 10 やや好調： 10 ～ 0
 やや不調： 0 ～ -10 不調： -10 ～ -20 かなり不調： -20～

2025 年 7 月調査（6 月実績）キーワード TOP3

1. 米価格高騰
2. 気温の上昇
3. 土曜日が一日少ない（土日 10 回→土日 9 回）

（参考）2024 年 7 月調査（6 月実績）キーワード TOP3

1. 土日が 1 日ずつ多い曜日巡り
2. 気温が高く関連商材が好調
3. 米の供給不足報道、特売休止

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

6 月実績速報版 165 社
 5 月実績確報版 141 社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp